

「医療安全の基本」をいま,もっとも簡潔にわかりやすくまとめた実践書!
すぐに使える!

歯科診療室での 医療安全実践ガイド

起こりやすいエラーの予防と対応策

【編著者】

石川 雅彦 (日本医療安全研究所 所長)
平田創一郎 (東京歯科大学社会歯科学研究室 准教授)
中島 丘 (横浜市・みほ歯科医院)

【著者】

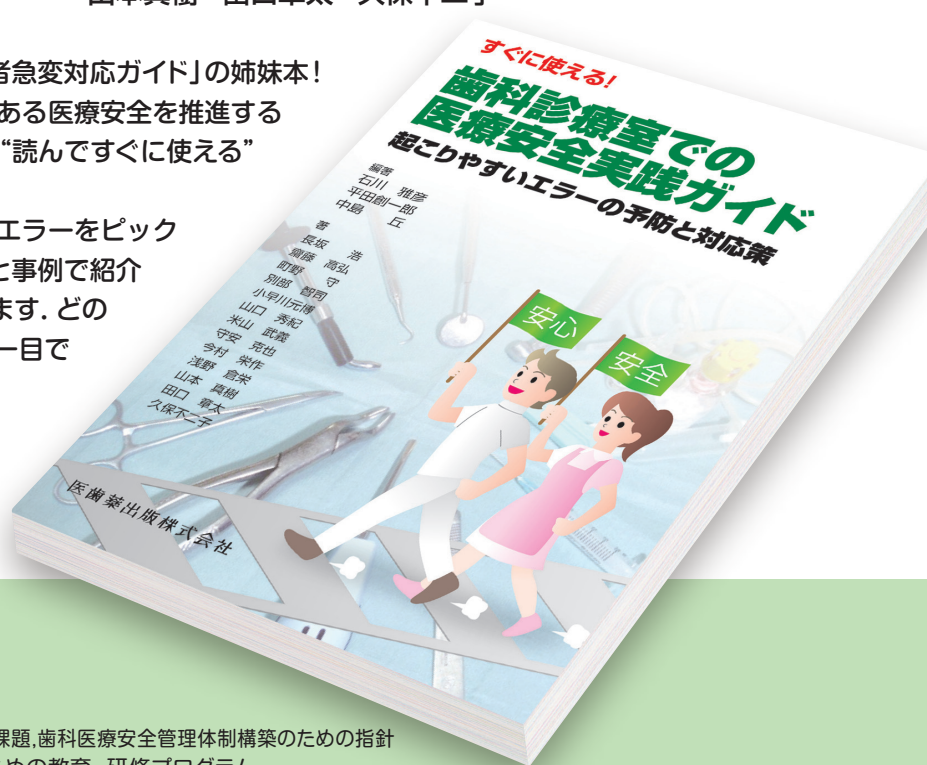
長坂 浩・齋藤高弘・町野 守・別部智司・小早川元博・
山口秀紀・米山武義・守安克也・今村栄作・浅野倉栄・
山本真樹・田口章太・久保不二子

●大好評「これで安心! 歯科診療室での患者急変対応ガイド」の姉妹本!

●本書は、医療機関にとって最優先課題である医療安全を推進するために必要な考え方や具体的な取り組みを“読んですぐに使える”をコンセプトに編集しました。

●実際に起こりやすいさまざまな場面でのエラーをピックアップし、その予防と対応策を豊富な写真と事例で紹介しながら、簡潔にわかりやすく解説しています。どの項目から読んでいただいても、ポイントが一目でわかるような構成です。

●医療安全に関するリスクセンスを磨き、安全で良質な歯科医療の提供のためにぜひ2冊セットでご活用ください。



CONTENTS

【総論】

- ①なぜ、今、医療安全なのか……?
- ②歯科における医療安全対策(管理)の特殊性
- ③歯科医療におけるインシデント・アクシデントの現状と課題、歯科医療安全管理体制構築のための指針
- ④「患者さんが必要とする医療を安全に実践する」ための教育・研修プログラム
- ⑤医療安全管理を確立するためのコミュニケーション・マネージメントとは

【各論】

●エラーの予防と対応策

(大学病院・専門医療における・研修歯科医が起こしやすい・開業歯科診療室における・小児歯科・障害者歯科・矯正治療における・口腔外科における・インプラント治療時・口腔ケアや訪問歯科診療時)

- 歯科衛生士が取り組む医療安全
- 医療安全のための分析ツールとは
- 院内スタッフが報告するインシデントレポート
- これだけは知っておきたい医療安全のための感染防御
- これだけは知っておこう! 医療安全に必要な投薬禁忌・薬剤知識
- 医療安全のためのカルテ記載法
- 医療安全のための情報収集はどのようにするか?
- 器材の保守点検不備、器材がひき起こすエラー ほか

【コラム】

モニタって何?

歯科診療にあたり、最も大切なことは

投薬した薬剤で副作用が出てしまったら ほか

B6判/216頁/2色刷
定価3,570円(本体3,400円+税5%)
ISBN978-4-263-44321-7

医歯薬出版株式会社

〒113-8612 東京都文京区本駒込 1-7-10
TEL.03-5395-7630 FAX.03-5395-7633
<http://www.ishiyaku.co.jp/>

